
和光大学現代人間学部紀要

第4号

目次

最終講義・学校における教育・学習を支える集団・コミュニティの問題 —教育と教育学の転換期	奥平康熙 — 007
戦後日本の小中学校における女性教師の脱性別化—「婦人教師」から「教師」へ 浅井幸子／玉城久美子／望月一枝	— 021
The Discovery of “Childhood” in Tokugawa Japan	OHTA Motoko — 037
山住正己の教育学理論の形成過程（その1） —「戦後教育学」再検討の一つの試み	草野滋之 — 047
ものづくりの教育思想の歴史と構造 —ものづくりの教育における陶冶と訓育	鈴木隆司 — 063
青年期における恋愛様相モデルの構築	高坂康雅 — 079
イタリアの戦後歴史教科書に見る日本イメージの一側面	上野隆生 — 091
研究ノート・青年期の自立と学生支援	川上華代 — 115
研究ノート・あるニヴフ人の戦前と戦後	丹菊逸治 — 129

特別授業

対話とコミュニケーションのなかで育つ学力と生きる力 ——— 145

学力と生きる力を育てる一人間像の相克を通して 梅原利夫 ——— 147

子どもの言葉を育てる保育とそのための環境作り
—親を巻き込む保育実践 増田修治 ——— 165

「ことばが育ち人が育つことを実感して楽しみになる国語の授業」をめざして
鎌倉 博 ——— 183

公開シンポジウム

女性学の挑戦
—和光大学35年の経験から ——— 197

司会のことば 道場親信 ——— 198

女性学の創出と和光大学の試み 井上輝子 ——— 199

性差研から労働運動、そしてDV被害者支援へ 阿部裕子 ——— 215

こだわりとしての“ジェンダーとメディア”研究 諸橋泰樹 ——— 222

女性学の発展と現代的課題 千田有紀 ——— 247

ディスカッション ——— 254

シンポジウムを終えて 井上輝子 ——— 278